

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度
青森県	青森市	奥内地区	令和元年度	令和3年度

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
	付加価値額の拡大	収入総額が増加したものの経営コストの増加により目標を達成できなかった。	経費の削減等を促し付加価値額を拡大するよう促す。
1	経営面積の拡大	現所有地・貸借地の近郊で探しているが、目標を達成するまでの貸借面積には至らず、成果目標を達成できなかった。	農地中間管理事業の受け手として登録してあることから、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる出し手の農地を掘り起こし、情報提供やマッチングを進め、面積拡大に取り組むよう促している。

II 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。 2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。 3 地域計画の策定・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。 4 未達成者への対応等について 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。
--

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。
なお、必須目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導の内容を記入すること。
- IIについては、Iで整理した経営体ごとの成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積・集約状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③地域計画又は実質化された人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。

都道府県名	市町村名	事業実施地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	後潟地区	平地農業地域	R1	R3	青森市

I 助成対象者ごとの成果目標の未達成理由等

No.	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	付加価値額の拡大	経営体の努力で収入は増加したものの、資材費高騰下において、生産コスト上昇により収益が減少した。	今後は生産コストの削減に努めるなど、対象経営体が経営発展するよう市等関係機関が支援することとする。
	経営面積の拡大	現所有地の近郊で探しているが、よい農地を見つけることができなかった。	

II 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。 2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、経営開始資金などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。 3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。 4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。

〔記入要領〕

- I の「目標未達成となった主な理由等」欄については、助成対象者の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。
- II については、I で整理した助成対象者ごとの成果目標未達成理由等を考慮の上で、成果目標未達成による地域への影響等を踏まえ、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度
青森県	青森市	荒川地区	令和元年度	令和3年度

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	経営面積の拡大	現所有地・貸借地の近郊で探しているが、目標を達成するまでの貸借面積には至らず、成果目標を達成できなかった。	農地中間管理事業の受け手として登録してあることから、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる出し手の農地を掘り起こし、情報提供やマッチングを進め、面積拡大に取り組むよう促している。

II 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1 担い手への農地利用集積について

農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。

2 必要となる中心経営体の育成について

関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。

3 地域計画の策定・見直し等について

定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。

4 未達成者への対応等について

未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。

また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。

なお、必須目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導の内容を記入すること。

- IIについては、Iで整理した経営体ごとの成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積・集約状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③地域計画又は実質化された人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。